

ARSi300GA

言語文化演習－アフリカの文化を学ぶ－

粟飯原 文子

配当年次／単位：3～4 年／ 4 単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

みなさんはアフリカについて何を知っていますか？ 何を連想するでしょう？

わたしたちが「知っている」アフリカとは、えてして、広大な大陸のごく一部を、ある特定の見方から切り取ったイメージでしかありません。アフリカとは実に 50 以上の独立国を含み、地域や民族によって全く異なる言語・文化・慣習が存在する広大で豊かな場所。この演習では、そんな多様性豊かなアフリカの文化表現に触れ、さまざまな時空間を「旅」することで、アフリカについて多角的に学んでいきます。

なお、アフリカを学ぶことで、他の旧植民地地域の歴史や文化にも関心を向けられるかもしれません。受講生個人の研究・発表のテーマは、アフリカに限らず、南アジアやカリブ海などの地域を対象とすることも可能です。

【到達目標】

- ・ アフリカのさまざまな文化表現を通して、アフリカの多様性を理解し、かつアフリカの歴史・社会・政治に幅広く触れる。
- ・ アフリカ（および旧植民地地域）について学び、考えることで、「世界史」への新しい視座を得る。
- ・ 批評・議論の力を発展させ、自主的な調査・研究の方法を身に付ける。

【授業の進め方と方法】

- ・ アフリカの文化表現とそれに関する議論や批評に触れる。そこから、文化表現が指し示す文脈、ないしは文化表現が生まれる文脈についても理解を深められるようにする。
 - ・ 映画鑑賞の回以外は基本的にはゼミ形式で進めていく。担当者が問題提起を含む発表を行い、そのつど全体で討論する。
 - ・ 春学期のレポートは文献リストから一冊を選択して「書評レポート」を書く。
- また秋学期の後半には、秋学期のレポートのもとになる研究発表を行ってもらう。授業内で扱ったテーマから選んでもよいが、個人の関心や問題意識にもとづいて自由にテーマを設定することもできる。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	春学期の演習の進め方を説明。自己紹介。
第 2 回	レポートと論文の書き方を身に付ける	レポートや論文の書き方について、疑問や不明な点を解消できるように基本事項を復習する。
第 3 回	アフリカの歴史を学ぶ①	わたしたちはどのようにアフリカにアプローチすべきか。まずは大陸の歴史を概観する。
第 4 回	アフリカの歴史を学ぶ② 抵抗の歴史	アフリカ大陸の歴史を「抵抗」という切り口から学ぶ。
第 5 回	ルワンダへの視座①	ルワンダ虐殺とは何であったのか。歴史的に長いスパンで学んで理解を深める。
第 6 回	ルワンダへの視座②	映像作品やエッセイなどを通じて、ルワンダ虐殺について考える。
第 7 回	アルジェリア解放戦争①	アルジェリアの歴史を概観し、さまざまな文献にふれて解放戦争についての理解を深める。
第 8 回	アルジェリア解放戦争②	映画『アルジェの戦い』を鑑賞したうえで、作品について議論を行う。

第 9 回	南アフリカ真実和解委員会①	南アフリカ共和国の真実和解委員会の取り組みについて学ぶ。
第 10 回	南アフリカ真実和解委員会②	真実和解委員会について映画を通して学ぶ。
第 11 回	イメージとしてのアフリカ①	アフリカに関する偏見やステレオタイプはどのようにつくられてきたのか。複数の文献から、歴史的に検証する。
第 12 回	イメージとしてのアフリカ②	引き続き、さまざまな文献の精読を通じて、「アフリカのイメージ」がつくられてきた歴史と背景を学び、討論を行う。
第 13 回	アフリカのポピュラーカルチャー	アフリカのポピュラーカルチャーのいくつかの事例を、さまざまな文献を通して学ぶ。
第 14 回	春学期のまとめ	レポートの提出。春学期で学んだことの復習。

秋学期

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	秋学期の演習の進め方について説明。国際文化情報学会および学期後半に行う個人研究発表について意見を交換する。
第 2 回	アフリカ文学を学ぶ①	アフリカ人作家のエッセイを通して、アフリカ文学を読解する手がかりをつかむ。
第 3 回	アフリカ文学を読む②	アフリカ文学作品を精読、担当者が批評・分析の対象となる箇所を指摘したうえで、全体で討論を行う。
第 4 回	アフリカ文学を読む③	アフリカ文学作品を精読、担当者が批評・分析の対象となる箇所を指摘したうえで、全体で討論を行う。
第 5 回	パンアフリカニズムという夢	パンアフリカニズムの歴史、思想について、複数の文献を参照しながら理解を深める。
第 6 回	ネグリチュードとはなにか	「ネグリチュード」について、その担い手、思想・表現のあり方など、基本事項を学び、複数の文献を通して関連する議論に触れる。
第 7 回	アフリカとグローバル経済	関連する文献を読んで議論する。
第 8 回	ドキュメンタリー映画で学ぶアフリカ	文献を読んだうえで、ドキュメンタリー映画を鑑賞し議論する。
第 9 回	研究発表①	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第 10 回	研究発表②	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第 11 回	研究発表③	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第 12 回	研究発表④	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第 13 回	研究発表⑤	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第 14 回	秋学期のまとめ	秋学期のレポート、卒業研究の提出。秋学期で学んだことの復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・ 次週のための準備・予習は必ず行うこと。
- ・ 文献を読む場合、指名された担当者はレジメを作成して発表する。また、発表担当の有無によらず、受講者全員が文献を共有し、問題意識をもって授業に臨んでほしい。
- ・ 春学期・秋学期ともにレポートを課題として出すので、そのための調査を独自に行うこと。

【テキスト（教科書）】

授業時にコピーを配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

管理 ID: 1804999
授業コード: C1117

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業への貢献度、授業時間内の課題の提出） 10 %
- ・授業での発表（調査やレジュメの完成度） 30 %
- ・学期末のレポート 60%

【学生の意見等からの気づき】

学生の自主的な学習、授業への積極的な参加をうながせるよう工夫をおこないたい。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

- ・全員が何らかの形で授業に貢献すること。
- ・授業で提示された文献をしっかり読むのは言うまでもなく、自分で文献を探して積極的に読んでいき、研究テーマをできるだけ早く見つけられるようにする。
- ・英語（仏語）の読解能力を身につけてもらいたいので、個人の調査・研究にもなるべく英語（仏語）文献や資料を用いること。